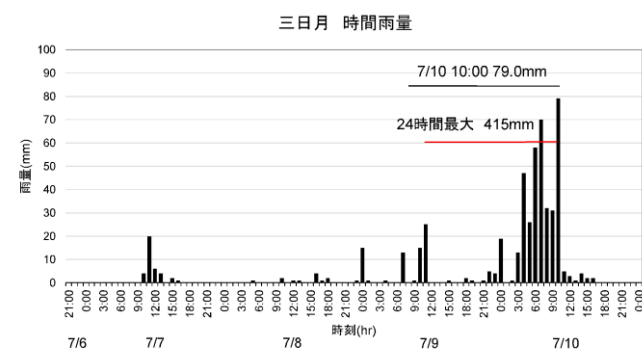
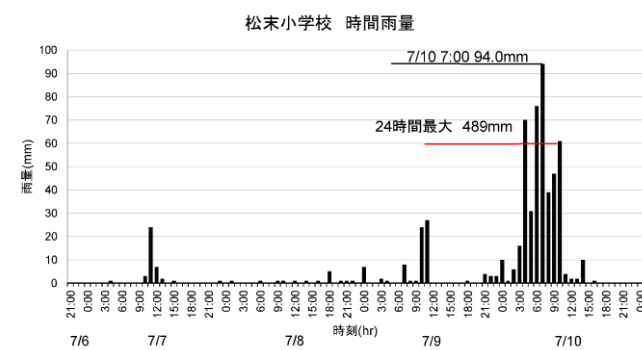
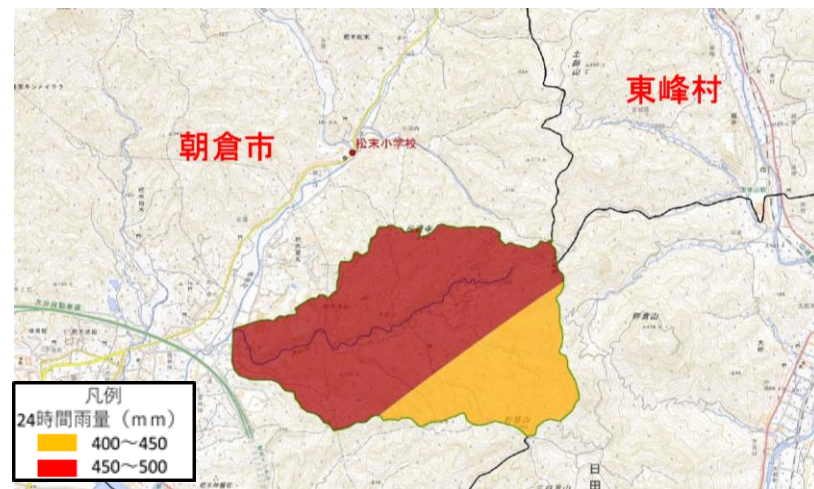


・事業箇所位置図



・ 雨の状況

- 短時間等雨量線図より、大山川付近では1時間雨量約90mm、24時間雨量約500mmと局地的な降雨となった。
- この異常な気象現象による当該河川の被災は、**護岸の崩壊及び河床の低下の確認**するなどの豪雨災害であった。



・事業概要工程表

[illegible]

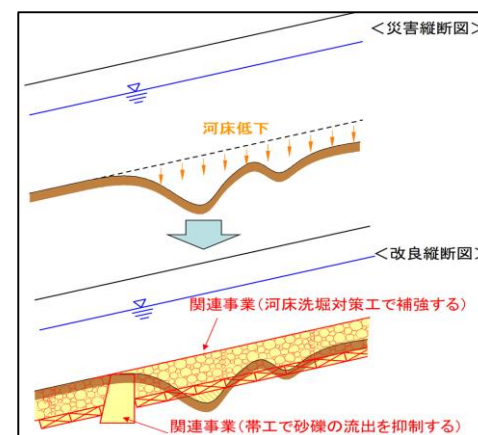
【大山川】



・整備イメージ

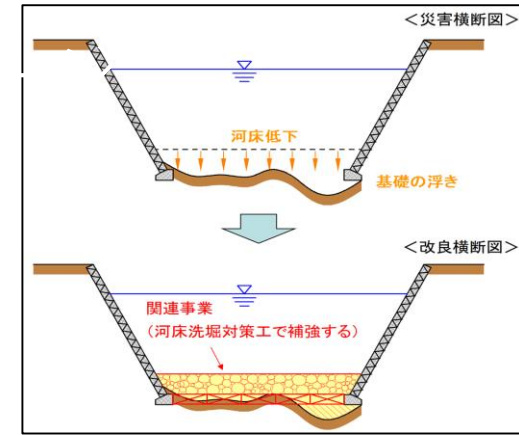
《效果》

- ・帯工、護床工を設置し、河床の低下を防止し、河床の安定化を図る
- ・河床の粗度向上により、高速流の派生を抑制する



急流区間である当該被災区間は、高流速の影響で掃流力が大きくなり、河床低下および局所洗堀による護岸崩壊が生じている。

河床洗堀対策工（根固めブロック+砂礫埋戻し）により補強するとともに、砂礫床による粗度の増大を図り、高速流の発生を抑制する。また、帯工による砂礫の流出を抑制し、再度災害を防止する。



・事業の進捗状況

